

「子はかすがい、子育ては春日井」パワーアップ事業 地方創生推進交付金にかかるKPI検証について

1 地方創生推進交付金の概要

平成28年度から地方版総合戦略の本格的な推進に向け、国は次のとおり地方創生の深化のための交付金を創設しました。

- ① 自治体の自主的・主体的な取組で、先導的なものを支援
- ② 事業費の1/2を国から地方公共団体に交付

また、事業の推進にあたっては、効果的なPDCAサイクルを実施するため、重要業績評価指標（KPI）を設定するとともに、第三者機関による検証を求めています。

2 事業の位置づけ

本市は、平成28年3月24日に「子はかすがい、子育ては春日井」宣言を行い、長期的な視点で、本市居住の魅力＝「暮らしやすさ」を磨き上げ、「子はかすがい、子育ては春日井」ブランドを醸成することにより、その魅力を市内外に積極的に発信していくこととしました。そして3か年計画の事業の『子はかすがい、子育ては春日井』宣言推進事業を平成30年度までで完了しました。

さらに、令和元年度からは、2か年計画の『子はかすがい、子育ては春日井』パワーアップ事業を実施し、「働きながら子育てしやすいまち」に向けて、取組を進めてきました。

令和3年度からは、NPO法人あっとわんの自主事業として、これまでの事業実績や経験を踏まえ、法人としての強みを生かし、継続して実施していただいています。

3 令和2年度の取組の概要

(1) ママインターン（H28～R2）

結婚、出産を機に「働く」ことから離れている女性に、就労体験を通じて子育てしながら働くことについて体感してもらう取組です。

「こんな仕事が向いてるんだ。」や「このペースなら仕事と家庭の両立ができる。」といった感想をいただき、自分に合ったライフスタイルの発見をサポートすることができました。

令和2年度は、参加者ニーズの高い、子育て支援関連の施設や事業所での就労体験とするとともに、より質の高いインターンとなるように、一人の参加者に対し、複数の事業所での職場体験を設定しました。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、実施期間が10月中旬から1月中旬までの約3か月間となったため、参加者は減少となりました。

年度	受入可能事業所	参加者
H28	11カ所	11名
H29	16カ所	13名
H30	16カ所	8名
R1	18カ所	10名
R2	20カ所	2名

(2) ままなび (R1~R2)

講座を通じて自らが暮らす地域社会へと目を向けてもらい、地域との関わりへの主体性を高めることで、受講者の地域活動への参加を促進する取組です。子育て中の母親が子育てしながら社会でいきいきと活躍することをめざします。

令和2年度は、1講座全3回とし、2講座を実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、1講座のみの開催となりました。

実施日	参加者数	テーマ
令和2年9月24日	12人	第1回「リバウンドなしのおうちおかたづけ」
令和2年9月30日	13人	第2回「ママのクローゼットすっきり化計画」
令和2年10月7日	11人	第3回「知ろう！食品寄付の活動について」

4 KPI (重要業績評価指標) の達成状況

地方創生推進交付金の活用にあたり、交付対象事業の重要業績評価指標 (KPI) を設定しています。

① 事業を通じた再就職者数

年度	目標値	実績値
令和元年度	2人	4人
令和2年度	2人	0人
累計	4人	4人

② 事業への参加希望登録事業所（受け入れ可能事業所）の増加数

年度	目標値	実績値
令和元年度	2事業所	2事業所
令和2年度	3事業所	2事業所
累計	5事業所	4事業所

③ 就労体験報告会参加者数

年度	目標値	実績値
令和元年度	20人	15人
令和2年度	30人	0人
累計	50人	15人

④ 事業を通じた地域活動やボランティアに参加した者の数

年度	目標値	実績値
令和元年度	2人	0人
令和2年度	3人	11人
累計	5人	11人

5 KPIの検証

KPIの達成状況については、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けた結果となりました。

KPI①「事業を通じた再就職者数」については、目標を達成しています。しかしながら、令和2年度については、ママインターンの実施期間が短く、参加者も少なくなったため、再就職者数はゼロとなっています。

KPI②「事業への参加希望登録事業所の増加数」については、今年度のママインターンをニーズの高い子育て支援の現場に特化し、参加希望登録事業者数は増加したものの、目標を達成することができませんでした。

KPI③「就労体験報告会参加者数」については、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、体験報告会が開催できなかったため、実績はゼロとなっています。

KPI④「事業を通じた地域活動やボランティアに参加した者の数」については、ままなびの参加者11名が実際にボランティアを行ったことから、目標を大幅に上回りました。

「ママインターン」と「ままなび」のどちらの参加者からも、ヒアリングやアンケートから、本事業に参加し、経験や知識、人との関わりを増やすことにより、自身や地域がよりよいものになると実感を得られていることがうかがえました。また、受け入れ事業所からも、「チャレンジする母親の役に立てた」、「スタッフの刺激になった」などの声をいただいたことから、それぞれの立場の方々にとってもメリットになっています。